

時間をかけて準備してきた朔陵祭が終わりました。後期の学校行事には、まだ球技大会がありますが、球技大会が終わると、すぐに後期中間考査が始まっていきます。考査ごとに出される評定は、これからの進路決定に大きく関わってくるものです。そこで、今回は進学についての情報を紹介します。

入試について知ろう！

専願：その学校が第一希望で合格したら必ず入学する。

併願：他の学校にも出願が可能である。

【AO入試】 専願

- ・大学側の求める学生像に合っているか、学習意欲、適性を重視して選考される。
- ・高校の推薦状は**不要**。大学側が設定する資格を満たしていれば誰でも出願可能。
- ・個性や能力、将来の目標などが評価される。
* 私立だけでなく、国公立大学でもAO入試を取り入れている大学はあります。

〈AO入試の出願までの流れ〉

オープンキャンパスに参加



エントリーシートを送る



志願理由書と書類の準備

【一般入試】 併願可

- ・ペーパーテストの点数で合否が決まる入試。
- ・学力に相当な自信がある人向けであるが、現実的には難しい。

【推薦入試】 専願

① 指定校推薦

- ・大学が各高校に割り当てられた推薦枠を利用。
- ・推薦基準は、評定平均や欠席日数など学校ごとに設定されている。
- ・推薦を受けることができればほぼ確実に合格。募集は9月から行い、校内選考の後、決定。

② 公募推薦

- ・誰でも自由に出願可能。
- ・出願要件…①学校長の推薦を受けること ②評定平均の基準値をクリアすること
- ・10月出願、11月入試のパターンが一般的。

③ 自己推薦

- ・学校からの推薦状は**不要**。評定平均値などの条件を満たしていれば応募可能。
- ・スポーツや芸術などの成果・実績がある人向けが多い。
- ・学力よりも意欲や適性に比重が置かれる傾向。
* 実質的には、AO入試なのに「自己推薦」と名前で入試が行われることもあるため、名前にとらわれず、要項をチェックしておきましょう！



いずれの入試も大学や学部によって細かい募集要項は異なります。自分が気になっている大学の入試情報を早めに確認しておきましょう！

進学に関しては 9月の第一週目から進学先を決定していきますが、推薦を受けるためには一定の基準をクリアしていることが求められます。本校では以下のような基準をもとにして推薦者の協議を行っています。

本校の推薦基準(進路)

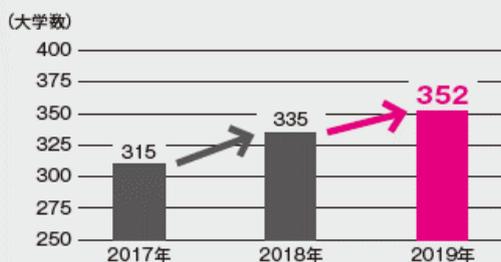
- ①直近の定期考査までの評定平均値が3.0以上であること。
ただし、当該大学等の基準に合致していれば、3.0未満であっても協議の対象とする。
- ②生活態度や学習態度が良好であること。
- ③推薦出願時点において、卒業に必要な74単位の修得の見込みがあること。
- ④入学時から推薦希望(出願)までの間、正当な理由のない欠席日数が30日を超える者は別途審議の対象とする。



定期考査の結果や単位の修得はもちろんですが、欠席日数も大きく関係してきます。企業であっても、大学であっても「信頼のおける人物かどうか」が大切になります。自分の進路を実現させるためにも、今のうちから「遅刻・欠席」「評定」を意識していけるといいですね！

外部検定について

◎推薦・AOでの外部検定利用大学数



ここ最近の推薦・AO入試では、外部検定利用大学が年々増えてきています。その利用方法は様々で、「出願資格」や「得点換算」、「加点」などがあります。

また、推薦・AOの外検入試において最も採用率が高いのは英語検定です。大体ですが、準2級以上のレベルが求められてきます。

そして、2020年度からは大学入試制度が変わり、「大学入試英語成績提供システム」を利用する入試方法もあります。

自分の志望する大学の入試情報や入試要項をよく確認し、対策をしておきましょう！英検についての詳細は職員室前にも掲示してありますので、ぜひ見てみてください。

◎外検入試で求められる英語のレベル(推薦・AO)

